

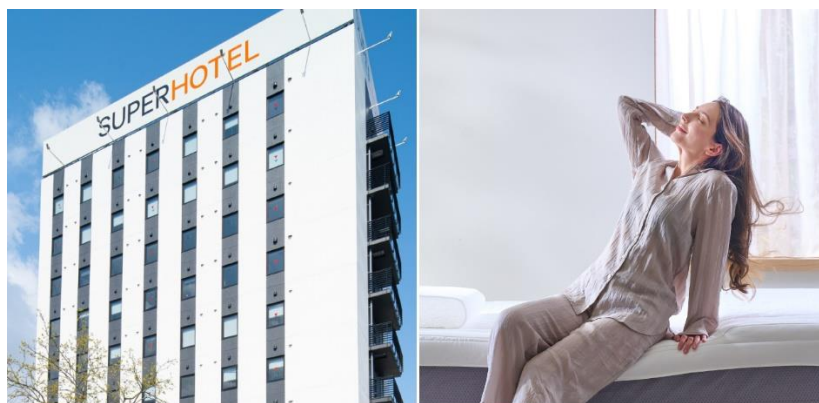
2024年3月13日

報道関係者各位

株式会社スーパーホテル

## スーパーホテルとブレインスリープが全国1万人を対象とした 睡眠環境・睡眠習慣に関する共同調査の結果を公開

～寝室の色調、寝室の湿度、寝室での行動習慣によっても睡眠の状態への影響調査～



SUPERHOTEL × BRAIN SLEEP

「Natural, Organic, Smart」をコンセプトに、地球にも人にも優しいホテルの運営を手掛ける株式会社スーパーホテル（代表取締役社長：山本 健策、本社：大阪府大阪市）は、株式会社ブレインスリープ（本社：東京都千代田区、代表取締役：廣田敦）と共同で、全国47都道府県の有識者1万人を対象とした共同睡眠調査を初めて実施しました。

詳細ページ（睡眠偏差値®調査結果）：

<https://brain-sleep.com/service/sleepdeviationvalue/research2024/>

スーパーホテルでは、滞在時間の大半を「眠る」ことに費やされるホテルの一番の使命は、お客様に「ぐっすり」眠って翌朝元気にご出発いただくことと考えています。

そんな理念のもと、これまで大阪府立大学名誉教授 清水教永医学博士と共同設立した「ぐっすり研究所」で長年にわたり睡眠の快適性について科学的に探究してきました。

この研究成果に基づき、硬さ・高さ・香りなどが異なる8種類から選べる枕や、身体への負担が少ないマットレスの採用、人が最も眠りに入っていくやすい照明設定や客室の防音設計、自然治癒力が高く健康増進に効果的な天然温泉の導入などに取り組んでいます。

また、珪藻土の客室天井や「健康イオン水」の全館供給など、きれいな空気ときれいな水にもこだわっています。

スーパーホテルは今回の共同調査で取得した1万人の睡眠環境に関するデータをベースに、お客様にさらに「ぐっすり眠れる環境」をご提供できるよう、今後も様々な活動を実施してまいります。

## ■調査概要

ブレインスリープは、睡眠に関する様々な尺度から「睡眠偏差値®」を構成し、日本人の睡眠実態を把握する試みや企業の従業員様向けの健康経営サービスなどの展開を進めています。今回、2024年度版の睡眠偏差値の測定を実施し、新たに寝室の色と睡眠との関係性等の調査を実施。

## ■西野精治コメント：ブレインスリープ最高研究顧問、「スタンフォード式 最高の睡眠」著者



睡眠は“fragile”「壊れ物注意」と表現されることがあり、寝室等の外部環境によっても大きな影響を受けます。寝室の室温、湿度、照明によっても睡眠の状態が変わることが知られていますが、寝室の色調に関しては外国での調査報告はあるものの、日本での調査は見当たりません。今回、ブレインスリープとスーパーホテルで睡眠環境、睡眠習慣に関する共同調査を行い、白い寝室で寝ている人がよい睡眠がとれていることがわかり、続いて茶色、ベージュの順で良い傾向がみとめられました。一方、一番よい睡眠がとれていないのは赤い寝室で寝ている人で、それらの人では、労働時間が長く、寝室で仕事や勉強をしている割合が多く、就寝前の飲酒や激しい運動を行う頻度も多いようでした。また、青色の寝室で寝ている人ではスマホ・タブレットで娯楽を楽しむ割合が高いことも判明しました。

原因か結果の見極めが必要ですが、日本人では、自然と調和するナチュラルな色の寝室での就寝が良い睡眠をもたらすという今回の結果は興味深いです。

## ■調査結果サマリー

スーパーホテルはブレインスリープと共同で、全国47都道府県の有職者1万人(性別・年齢・都道府県で割付)を対象として睡眠環境や睡眠習慣に関する調査を行いました。本調査は、ブレインスリープが睡眠に関する様々な質問から構成する、睡眠状態評価をする「睡眠偏差値」と睡眠環境・睡眠習慣を掛け合わせて分析することで、どのような睡眠環境が良質な睡眠に繋がっているのかを把握することを目的としています。本調査の対象として分析を行った睡眠環境は以下の通りです。

1. 寝室の色
2. 寝室での行動習慣
3. 寝室の湿度環境

### 1. 寝室の色と睡眠の関係性：睡眠の質向上には白い寝室がおすすめ

今回の調査で、寝室の色は白・ホワイトが36%主流であり、次点も「オフホワイト(クリーム)」 「ベージュ」 「茶色」が10%前後で続いており、落ち着いた色にする人が多いことがわかりました。

★ 睡眠の質			🕒 睡眠時間		
1	白・ホワイト	75.58	1	ゴールド	7 時間 16 分
2	茶色	73.12	2	赤	7 時間 15 分
3	ベージュ	73.09	3	シルバー	7 時間 06 分
4	ネイビー	72.66	4	グレー	7 時間 02 分
5	オフホワイト	71.88	5	黒	7 時間 01 分
6	水色	71.75	6	オレンジ	6 時間 56 分
7	黒	71.51	7	紫	6 時間 56 分
8	緑	71.50	8	茶色	6 時間 52 分
9	青	71.21	9	ネイビー	6 時間 51 分
10	グレー	71.16	10	白・ホワイト	6 時間 50 分
11	紫	71.05	11	ピンク	6 時間 50 分
12	ピンク	70.50	12	ベージュ	6 時間 48 分
13	オレンジ	70.21	13	青	6 時間 42 分
14	黄色	69.48	14	オフホワイト	6 時間 42 分
15	ゴールド	68.75	15	水色	6 時間 40 分
16	シルバー	66.47	16	緑	6 時間 39 分
17	赤	64.85	17	黄色	6 時間 35 分

特に男性は女性と比較して「白・ホワイト」を基調とした寝室にしている割合が高く、その他の色について性年代別の傾向をみると、女性は「緑」「ピンク」が男性より高く、男性（特に若年）は「黒」が女性より高くなっています。

睡眠においては白い寝室で寝ている人がよい睡眠がとれていることがわかりました。睡眠の質のスコアが 73.58 と最も高く、平均睡眠時間も 10,000 人の平均である 6 時間 50 分確保できていました。続いて茶色、ベージュの順で睡眠の質が高い結果でした。色は心や身体の健康に顕著な影響を与えるため、睡眠を良くするために取り入れやすい要素でもあります。

日本人の睡眠の質がよかった色は自然と調和するナチュラルなものが多く、白は清潔感ですっきりした気持ちになり、また茶系は心身をリラックスさせる効果がある可能性があります。

一方、一番よい睡眠がとれていないのは赤い寝室で寝ている人でした。睡眠時間は平均 7 時間 15 分確保できているものの、睡眠の質が最も悪いことがわかりました。本調査では、赤色の寝室の方は労働時間が長く、また就寝前の行動にも課題があることが確認されたため、それらが睡眠の質に影響を及ぼしたと考えられます。

イギリスの 2013 年に行われた 2,000 人の調査結果では青が一番よい睡眠がとれる色と紹介されました。またその調査ではカラーセラピー&ホリスティック・インテリア・コンサルタントのスージー・チアザリ氏は寝室のインテリアは、一晩の睡眠の質と量に確実に影響するため、寝室のインテリアの色はよく検討する価値があると述べていました。

今回ブレインスリープとスーパーホテルが行った日本人 10,000 人を対象とした調査で青系の寝室（ネイビー・紺／水色・ライトブルー・アクア／青・ターコイズ）で寝ている人は睡眠の質のスコアも悪くはないものの白や茶色には及ばない結果でした。国によって違いあることも大変興味深い結果となりました。

## **2. 寝室での行動：寝室が赤色の人は仕事や勉強を行う割合が高く、青系統の人はスマホで暇つぶしする割合が高い**

寝室で行う行動として多かった上位 3 つはすべてスマートフォンやタブレットを使用するものでした。一番多かったのは 41.3%が行っていた「SNS・ネットサーフィン」、次いで「動画閲覧」「ゲーム」の順でした。一方、睡眠以外に寝室でしていることはないと回答した人も全体で 22.9%いました。睡眠の質別にみると、質が良い層ほど「睡眠以外に寝室でしていることはない」割合が高く、悪い層ほど様々な作業・娯楽をしている割合が高くなっていました。中でもスマホやタブレットを利用した行動をしている人によりその傾向が顕著にみられました。また睡眠時間別に寝室での行動をみると、睡眠時間が長い人は「家族・パートナー・友人との会話」をする割合が高い傾向にありました。

また、寝室での行動については、寝室の色別に特徴的な傾向も出てきました。一番、特徴があったのが寝室の色が赤で「仕事」や「勉強」、さらには「飲食」をする割合が他の色よりも高く、全体的で多くの人が行っていたスマホ・タブレットで「SNS・ネットサーフィン」「動画視聴」「ゲーム」などをする割合は低い傾向にありました。

その他色別の行動特徴は以下の通りです。

青色（ネイビー／水色／青など）：スマホ・タブレットで娯楽を楽しむ割合が高い  
ピンク：ネットショッピングや電話（テレビ通話を含む）

黄色：読書（紙・デジタル）

グレー：家族・パートナー・友人との会話

シルバー：イギリスの結果同様、エクササイズ、音楽鑑賞と勉強

白／ベージュ／茶色：目立った特徴ない

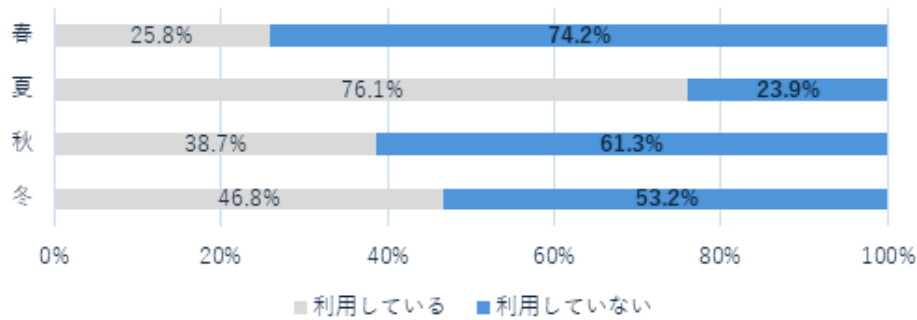
## **3 就寝時の湿度管理器具の利用率と設定湿度：就寝時、夏以外は湿度管理器具を利用しない人が大半。**

### **睡眠の質が悪い人は、設定湿度が低い傾向**

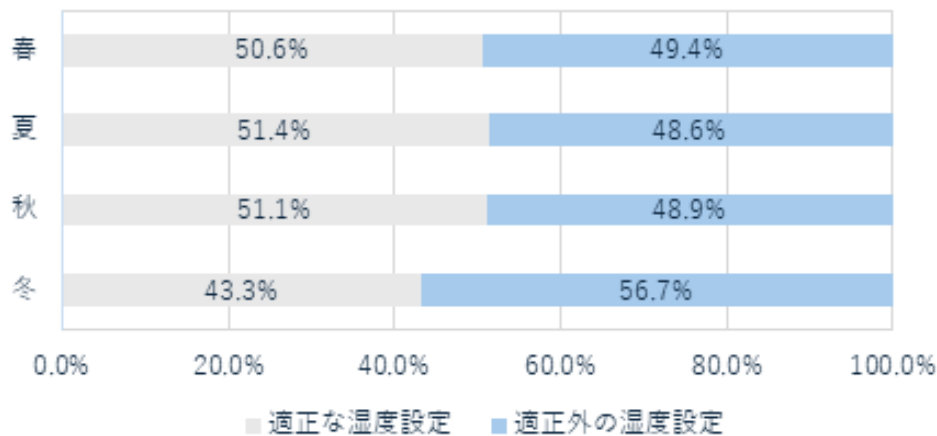
就寝環境の湿度は、温度と同様、睡眠に大きな影響を及ぼします。就寝時の寝室での湿度管理器具の利用状況を、季節別に調査すると、多湿環境である夏は約 76%が利用しているものの、春・秋・冬は利用しない人が 5 割を下回るなど、就寝時には湿度管理はあまり行わせていないことがわかりました。

特に春は7割以上が非利用で、湿度環境と睡眠の関係性をみると、睡眠時間が極端に短い人（4時間未満）や長い人（9時間以上）、また睡眠の質が悪い人（睡眠の質D判定）は、設定湿度が低い傾向にありました。

湿度管理器具の利用率



温湿度管理器具の設定温度



なお、睡眠学の観点から湿度は適正に保つことが理想とされているものの、本調査においては湿度管理器具の利用していない人の方が睡眠時間は短いものの、睡眠の質がよい傾向にありました。これはそもそも睡眠に悩んでいる人が睡眠の質改善のために就寝環境にこだわりを持っている可能性も示唆されるため、今後、スーパーホテルでは実際の客室を活かし、更なる検証を行ってまいります。

睡眠の質（ランク）：オリジナルの質問の回答結果をスコアリングし、さらに4段階A～Dランクに置き換えました。



(%)

n=30以上の場合

[比率の差]  
■ 全体+10%以内  
■ 全体+5%以内  
■ 全体-5%以内  
■ 全体-10%以内

睡眠時間別	n	【春】					【夏】					【秋】					【冬】								
		4 9% 以下	5 0% ~ 6 0%	6 1% 以上	自動 (器具は 利用あり)	設定なしまたは不明 (器具は 利用あり)	器具 利用なし	4 9% 以下	5 0% ~ 6 0%	6 1% 以上	自動 (器具は 利用あり)	設定なしまたは不明 (器具は 利用あり)	器具 利用なし	3 9% 以下	4 0% ~ 5 0%	5 1% 以上	自動 (器具は 利用あり)	設定なしまたは不明 (器具は 利用あり)	器具 利用なし	3 9% 以下	4 0% ~ 5 0%	5 1% 以上	自動 (器具は 利用あり)	設定なしまたは不明 (器具は 利用あり)	器具 利用なし
全体	(10,000)	4.0	4.0	0.5	10.6	6.7	74.2	8.5	9.1	1.4	28.1	29.0	23.9	4.4	4.0	2.8	14.8	12.8	61.3	4.8	4.9	4.1	18.2	14.8	53.2
4時間未満	a (208)	7.2	4.3	0.5	13.9	10.1	63.9	13.0	5.8	1.4	26.0	27.4	26.4	7.7	3.8	2.9	13.5	13.5	58.7	8.7	3.8	3.4	18.3	14.4	51.4
4時間以上5時間未満	b (466)	3.9	2.8	0.2	7.3	5.8	80.0	8.2	7.5	0.4	25.5	32.2	26.2	3.6	2.4	1.7	12.0	14.6	65.7	2.8	5.4	2.1	13.1	18.0	58.6
5時間以上6時間未満	c (1,693)	2.7	3.6	0.5	9.7	5.7	77.8	8.3	9.2	1.4	26.0	31.2	23.9	3.5	3.7	2.2	13.9	12.4	64.3	4.3	4.5	4.1	16.1	14.5	56.5
6時間以上7時間未満	d (3,126)	3.6	3.7	0.5	10.0	6.8	75.3	7.8	9.0	1.2	27.7	29.3	24.9	3.5	3.8	2.8	14.8	13.2	61.7	4.0	4.8	4.3	17.6	14.4	54.9
7時間以上8時間未満	e (2,870)	4.0	3.8	0.4	11.0	6.7	74.1	8.2	9.2	1.4	29.7	28.2	23.4	4.3	4.7	2.5	14.9	12.2	61.4	4.2	5.1	3.5	20.0	14.6	52.5
8時間以上9時間未満	f (1,117)	4.1	6.2	0.7	10.7	7.2	71.1	9.8	10.1	1.7	27.6	27.6	23.2	5.4	4.2	4.1	14.5	12.6	59.2	6.2	5.5	5.6	17.9	15.3	49.5
9時間以上	g (520)	9.2	4.8	0.4	16.2	7.9	61.5	11.5	8.8	1.7	33.8	25.2	18.8	10.0	3.5	3.3	20.0	12.7	50.6	11.9	3.7	4.4	24.2	15.2	40.6

n=30未満の場合

[比率の差]  
■ 全体+10%以内  
■ 全体+5%以内  
■ 全体-5%以内  
■ 全体-10%以内

睡眠の質別	n	【春】					【夏】					【秋】					【冬】								
		4 9% 以下	5 0% ~ 6 0%	6 1% 以上	自動 (器具は 利用あり)	設定なしまたは不明 (器具は 利用あり)	器具 利用なし	4 9% 以下	5 0% ~ 6 0%	6 1% 以上	自動 (器具は 利用あり)	設定なしまたは不明 (器具は 利用あり)	器具 利用なし	3 9% 以下	4 0% ~ 5 0%	5 1% 以上	自動 (器具は 利用あり)	設定なしまたは不明 (器具は 利用あり)	器具 利用なし	3 9% 以下	4 0% ~ 5 0%	5 1% 以上	自動 (器具は 利用あり)	設定なしまたは不明 (器具は 利用あり)	器具 利用なし
全体	(10,000)	4.0	4.0	0.5	10.6	6.7	74.2	8.5	9.1	1.4	28.1	29.0	23.9	4.4	4.0	2.8	14.8	12.8	61.3	4.8	4.9	4.1	18.2	14.8	53.2
A	a (587)	1.7	2.0	0.3	7.8	5.1	83.0	3.9	6.8	1.0	25.4	22.5	40.4	2.4	2.4	1.7	12.1	8.7	72.7	1.7	2.6	2.7	14.5	11.6	67.0
B	b (2,043)	1.7	2.7	0.4	9.6	5.3	80.2	6.2	8.2	1.3	27.4	26.6	30.3	2.5	3.1	2.3	12.7	9.9	69.5	3.0	4.0	3.3	16.3	12.2	61.1
C	c (4,697)	3.1	3.9	0.3	9.9	6.7	76.0	8.3	9.3	1.3	27.8	30.7	22.6	3.4	4.1	2.8	14.5	13.4	61.8	3.6	4.4	4.0	18.5	15.7	53.7
D	d (2,673)	7.9	5.6	0.8	13.2	8.0	64.4	11.9	9.9	1.5	29.9	29.2	17.7	7.9	5.0	3.3	17.5	14.7	51.7	8.8	6.8	5.0	20.0	15.9	43.4

■背景色の色付けについて

スコアの背景色は右図の通りで、スコアが全体値よりも 5pt/10pt 以上高い/低いことを示しています。ただし、統計的有意差は考慮せず色付けされています。(回答母数が 30ss 以上のものに限る)

■検定結果について

本レポートでは、同一軸内のカテゴリ間で検定を行っております。

大文字は有意水準 1%、小文字は有意水準 5%で、当該軸の方が有意に高いことを示しています。

■n30 未満のスコアについて

算出母数となるサンプル数が 30 未満の値については精度観点から参考値での掲載とし、サンプル数をグレーアウトしております。背景色の色付け等も行っておりません。

Appendix

(寝室での行動×寝室の色)

n=30以上の場合		[比率の差]																		n																																																																																																																	
		SMB-ネットサーバ/スマホ/タブレット利用			動画閲覧/スマホ/タブレット利用			ゲーム/スマホ/タブレット利用			テレビ視聴/テレビ利用/パソコン/タブレット利用			買い物/スマホ/タブレット利用			読書/マンガ/雑誌/電子書籍/スマホ/タブレット利用			音楽鑑賞			読書/マンガ/雑誌/読書(紙媒体)			音楽/スマートフォン/友人との会話			電話/ビデオ通話			エクササイズ			飲食			仕事			勉強			その他			睡眠以外にベッドルームの滞在(ベッドのうえで)していることはいくらですか?																																																																																						
		全体+10%以内			全体+5%以内			全体-5%以内			全体-10%以内			全体+10%以内			全体+5%以内			全体-5%以内			全体-10%以内			全体+10%以内			全体+5%以内			全体-5%以内			全体-10%以内			全体+10%以内			全体+5%以内			全体-5%以内			全体-10%以内																																																																																						
全体	(10,000)	41.3	37.1	30.0	20.8	17.9	16.7	14.7	13.9	12.1	7.8	6.6	5.8	4.9	4.5	0.6	22.9	37.5	33.7	29.3	23.6	21.6	16.8	18.8	12.0	7.2	8.2	6.7	9.1	8.7	7.2	-	25.0	41.0	38.2	30.3	23.0	17.2	15.9	14.8	16.3	16.3	9.2	8.2	3.9	7.5	5.2	4.5	1.3	19.3	42.4	39.0	31.2	22.6	18.1	18.4	16.6	15.1	15.1	9.9	6.3	6.8	6.3	5.0	3.3	0.7	24.8	41.0	37.4	30.1	22.5	17.7	17.3	15.8	15.5	11.5	8.3	6.8	6.3	5.3	4.5	4.4	0.6	23.2	41.0	36.8	29.7	20.4	17.8	16.5	13.9	12.8	13.6	7.7	6.3	5.8	5.1	5.1	5.1	0.7	22.1	42.3	36.3	28.9	15.8	18.3	13.1	10.2	11.5	12.5	7.6	6.8	5.1	4.1	4.0	0.2	23.4	40.6	32.5	29.0	14.2	18.1	16.3	13.5	10.4	17.1	9.8	7.5	6.3	6.2	5.8	0.4	21.7
睡眠の質別		17.5	14.8	13.8	13.1	5.6	5.3	7.2	9.7	5.5	2.6	3.4	1.9	1.5	2.2	0.3	50.3	31.7	26.4	23.3	16.9	12.3	11.7	9.1	12.1	9.4	4.7	4.6	3.2	3.2	2.9	0.7	34.2	44.3	39.1	31.4	21.1	18.0	17.0	14.9	14.1	12.6	7.4	6.3	5.5	4.5	4.2	0.7	20.7	48.5	46.5	36.2	24.7	24.8	22.4	20.1	15.8	14.5	11.9	9.2	9.3	7.7	6.9	0.6	12.2																																																																				

(寝室での行動×睡眠時間・睡眠の質ランク)

n=30以上の場合		[比率の差]																		n																																																																																																	
		SMB-ネットサーバ/スマホ/タブレット利用			動画閲覧/スマホ/タブレット利用			ゲーム/スマホ/タブレット利用			テレビ視聴/テレビ利用/パソコン/タブレット利用			買い物/スマホ/タブレット利用			読書/マンガ/雑誌/電子書籍/スマホ/タブレット利用			音楽鑑賞			読書/マンガ/雑誌/読書(紙媒体)			音楽/スマートフォン/友人との会話			電話/ビデオ通話			エクササイズ			飲食			仕事			勉強			その他			睡眠以外にベッドルームの滞在(ベッドのうえで)していることはいくらですか?																																																																						
		全体+10%以内			全体+5%以内			全体-5%以内			全体-10%以内			全体+10%以内			全体+5%以内			全体-5%以内			全体-10%以内			全体+10%以内			全体+5%以内			全体-5%以内			全体-10%以内			全体+10%以内			全体+5%以内			全体-5%以内			全体-10%以内																																																																						
睡眠時間別		37.5	33.7	29.3	23.6	21.6	16.8	18.8	12.0	7.2	8.2	6.7	9.1	8.7	7.2	-	25.0	41.0	38.2	30.3	23.0	17.2	15.9	14.8	16.3	16.3	9.2	8.2	3.9	7.5	5.2	4.5	1.3	19.3	42.4	39.0	31.2	22.6	18.1	18.4	16.6	15.1	15.1	9.9	6.3	6.8	6.3	5.0	3.3	0.7	24.8	41.0	37.4	30.1	22.5	17.7	17.3	15.8	15.5	11.5	8.3	6.8	6.3	5.3	4.5	4.4	0.6	23.2	41.0	36.8	29.7	20.4	17.8	16.5	13.9	12.8	13.6	7.7	6.3	5.8	5.1	5.1	5.1	0.7	22.1	42.3	36.3	28.9	15.8	18.3	13.1	10.2	11.5	12.5	7.6	6.8	5.1	4.1	4.0	0.2	23.4	40.6	32.5	29.0	14.2	18.1	16.3	13.5	10.4	17.1	9.8	7.5	6.3	6.2	5.8	0.4	21.7
睡眠の質別		17.5	14.8	13.8	13.1	5.6	5.3	7.2	9.7	5.5	2.6	3.4	1.9	1.5	2.2	0.3	50.3	31.7	26.4	23.3	16.9	12.3	11.7	9.1	12.1	9.4	4.7	4.6	3.2	3.2	2.9	0.7	34.2	44.3	39.1	31.4	21.1	18.0	17.0	14.9	14.1	12.6	7.4	6.3	5.5	4.5	4.2	0.7	20.7	48.5	46.5	36.2	24.7	24.8	22.4	20.1	15.8	14.5	11.9	9.2	9.3	7.7	6.9	0.6	12.2																																																				

(年代別就寝時の湿度管理器具の設定湿度)

n=30以上の場合		[比率の差]																		n																																																																																																																													
		40代			50代			60代			加湿器			除湿機			空気清浄機			加湿器			除湿機			空気清浄機			加湿器			除湿機			空気清浄機																																																																																																														
		全体+10%以内			全体+5%以内			全体-5%以内			全体-10%以内			全体+10%以内			全体+5%以内			全体-5%以内			全体-10%以内			全体+10%以内			全体+5%以内			全体-5%以内			全体-10%以内																																																																																																														
年代別		4.0	4.0	0.5	10.6	6.7	74.2	8.5	9.1	1.4	28.1	29.0	23.9	4.4	4.0	2.8	14.8	12.8	61.3	4.8	4.9	4.1	18.2	14.8	53.2	7.4	6.0	0.9	14.2	8.3	63.1	10.3	9.9	2.0	28.7	26.4	22.7	6.9	5.4	4.0	17.5	13.1	53.1	8.1	6.1	5.8	22.1	15.7	42.2	3.8	4.6	0.6	13.5	7.4	70.1	8.8	10.3	1.3	32.0	28.8	18.9	5.1	4.4	3.0	17.3	13.3	56.8	5.5	6.6	5.1	21.9	14.8	46.1	3.1	3.5	0.3	9.9	6.3	76.7	7.8	8.4	1.3	30.6	29.5	22.4	3.3	3.8	2.4	14.7	13.2	62.6	3.3	4.2	3.0	18.5	14.3	56.7	2.0	2.2	0.2	6.7	5.5	83.4	7.8	8.1	0.9	25.1	31.7	25.6	2.9	3.2	1.8	12.1	11.8	68.2	3.0	3.1	2.5	13.4	13.7	64.2	1.4	2.9	0.2	7.1	5.0	83.5	6.7	8.5	0.9	23.3	29.0	31.2	2.0	2.1	2.0	10.2	12.2	67.1	2.1	4.2	3.5	13.2	16.0	61.9

## 【株式会社ブレインスリープ】

設立：2019年5月

所在地：東京都千代田区丸の内 2-7-2 JP タワー 26F

代表取締役：廣田 敦

ブランドサイト：<https://brain-sleep.zzz-land.com/>

## 【株式会社スーパーホテルについて】

「Natural, Organic, Smart」をコンセプトに、健康でサステナブルなライフスタイルを提案するホテルとして国内170店舗、海外1店舗（ミャンマー）を運営（2024年3月時点）。ITの活用による生産性向上と、高品質な接客・サービスによる顧客満足度の向上を両立させ、2023年度には「J.D. パワー“ホテル宿泊客満足度9年連続 No.1 <エコノミーホテル部門>”」と「JCSI（日本版顧客満足度指数）調査 顧客満足度“No.1”」をダブル受賞。また環境保全の取り組みを行っている業界をリードする環境先進企業を環境大臣が認定する「エコ・ファースト制度」※では、ホテル業界で唯一認定を受けています。環境保全活動以外にも地域活性化や次世代支援などのSDGs推進活動に積極的に取り組んでいます。

公式サイト：<https://www.superhotel.co.jp/>

SDGsの取り組み：<https://www.superhotel.co.jp/sdgs/>

※「エコ・ファースト制度」について：<https://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/>

## 【お問い合わせ先】

株式会社スーパーホテル

本社：〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-7-7

TEL：06-6543-9000 /EMAIL：[pr@superhotel.co.jp](mailto:pr@superhotel.co.jp)